

Public Relations

広
報



<http://www.town.tsubetsu.hokkaido.jp/>



今月の表紙 津別消防演習 ~園児たちも放水に出動しました~

特集 介護予防 地域で元気に暮らす
第44回つべつ夏まつり

まちの話題 観光客やスポーツ合宿の受け入れに対応 津別町体験交流施設の新館オープン
万全の準備で災害に備える 津別消防演習実施

温故知新

若いころは相撲大会で活躍

布川 村田 泰市 さん

2014.8
NO.620

特集「介護予防」地域で元気に暮らす

町内各地で、サロンの輪が広がっています。現在4か所が開催中。

高齢者ふれあいサロンとは？

高齢者の閉じこもり防止と近隣の人々とのふれあいを目的とした、誰でも参加できる、地域住民の自主的活動です。

サロンにはこんな効果が！

【楽しさ・生きがい・社会参加】

「私がいけないとみんなが困る」。サロンは、そんな気持ちになれるところ。必要とされる喜びが、生きがいや社会参加意欲を高めます。

【無理なく体を動かせる】

「近所のサロンに出かけるだけでも、家の中でじっとしているのは違います。サロンのなかで無理なく体を動かせるプログラムを取り入れると一層、効果があります。

【適度な精神的刺激】

人と会い、話し、笑い、楽しい時間を過ごすことで、適度な精神的刺激になります。

【生活のメリハリがつく】

「曜日、日はサロンの日」と楽しみにすることで、時間や月日を意識するようになります。サロンの参加が日課になり、めりはりができます。

高台町「ほのぼのの教室」

毎月7日開催

平成13年に、町の保健師が「認知症予防教室」として開催したのが始まりです。平成18年から地域の皆さんが自主運営で継続し、平成25年からサロンとなりました。

7月のプログラムは、「介護予防」。運動指導の講師と一緒に、自宅でもできる転倒予防の体操で体を動かし、お昼は、特製の「冷やしラーメン」を、皆さんで楽しく食べました。

参加されている方は「月1回のサロンが楽しみ」「運動教室は遠くて通えないので、こういうプログラムは良い」と話されています。



本岐「本気いきいきサロン」

月1回開催

高台町と同じく、前身は保健師が開催した認知症予防教室で、初回の開催は平成9年2月という、サロンの中では一番長い集まりです。

本岐市街地の「農業研修センター」を会場に月1回集まり、調理実習や軽運動、本岐保育所との交流などを楽しんでいます。昨年は、保健師や運動指導を行うスタッフも参加し、健康づくりにも力を入れました。

冬期間は休止していましたが、今年の実施運営が自治会中心となり、7月頃に再開予定です。



相生「あいあいさろん」

月1回開催

平成24年度に行った、地区の実態調査から「サロン」の要望が高まり、平成25年3月に始まりました。

毎月一回定例で開催し、運動指導のスタッフ、看護師等も参加した転倒予防の体操やゲームなどのプログラムを行っています。

開設当初は地域包括支援センターが担当していましたが、今年度から社会福祉協議会が開催を支援し、職員、相生地区の住民の皆さんと一緒に、地域おこし協力隊もサロンの運営に加わって、健康づくりや地域の交流の場となっています。



柏町「柏町いきいきサロン」

毎月17日開催

相生と同じく、地区の実態調査がきっかけとなり、柏町自治会が中心となって平成25年6月にサロンを立ち上げました。

今年6月に1周年を迎え、参加されている皆さんの声を聴きました。

吉江利男さん

地域の集まり事には積極的に参加したい。サロンではゲームや世間話をしながら皆で食べる昼食も楽しみにしている。ボランティアで来てくれた琴の演奏が印象に残っている。音楽は心を癒してくれる。今後も演奏があれば是非聴きたい。

健康である限り、サロンに参加し、親しみのある皆と会える事を楽しみにしている。

福井真知子さん

参加している人がこれからも楽しめて、一人暮らしになっても家で引きこもる事無く、気軽に誘い合って楽しめるようなサロンにしたい。役員同士協力しながら、今後もサロンに来てくれる人がいる限り、続けていきたい。

「年をとっても健康な体」「地域の温かいつながり」「をつくる、サロン活動

サロンでいきいき元気に！



「サロンに行ってみよう」「サロンを地域でやってみよう」と思ったら・・・サロンは、高齢者にとって健康づくりや社会参加の場ですが、同じ地域に住む人たちと世代を超えたつながりができる機会でもあります。同じ地域で暮らす人たちが顔見知りになり、関心を寄せて互いを支えあう温かい地域づくりにもつながります。

サロンを自治会で立ち上げてみたいなどご希望があれば、地域包括支援センター（☎2158）や社会福祉協議会（☎761161）へ、ぜひご連絡ください。

サロンを始めるまでの準備やプログラム、運営に必要な費用など、ご相談に応じます。

津別町130年記念 第44回 つべつ夏まつり



ラウフェンの伴いのある歌声



タケカワユキヒデがヒット曲を熱唱



フォーリンラブの二人



31回目となった千人おどり



活汲小学校&RECつべつの
リコーダー演奏



第10回川のぼり大会



姉妹都市・南アルプス市の中込市長も来場



津別中学校吹奏楽部の息の
合った演奏



「観光コンシェルジュ」の
安達祐子さんがもちまきに参加



スマートボールに夢中



木漏れ目の下で乗馬体験

「津別町130年記念・第44回つべつ夏まつり」が、7月5日・6日の両日、河岸公園で開催されました。

5日の前夜祭は、リコーダーや吹奏楽の演奏、恒例のつべつ千人おどり、もちまき大会などで盛り上がり、クライマックスの花火大会では夜空に咲いた大輪の花に、大きな歓声が上がっていました。

好天に恵まれた6日の本祭では、第10回つべつ川のぼり大会、特産ビーフまつり、食べ物や名産品の出店などに多くの人が集まり、夏の一日を満喫していました。また、野外ステージで行われたHBCラジオ公開録音では、ゴダイゴのタケカワユキヒデさんや札幌在住の音楽ユニット・ラウフェンのライブ、お笑いコンビ・フォーリンラブの爆笑ステージが、会場を埋めた観衆を楽しませました。

津別に本格的な夏の訪れを告げる催しは、今年も町内外から訪れた来場者で賑わいました。

各種医療費助成事業の 受給者証は届いていますか

町では、北海道と共同で医療費の助成事業を実施していますが、この受給者証は毎年7月に更新しています。

現在助成の対象になっている方には、7月下旬に郵送していますが、もし届いていない方がいましたら役場担当まで問い合わせ願います。

乳幼児等医療費助成事業

【初診時一部負担金も助成します】
中学生まで助成の対象を拡大していますが、昨年度より初診時一部負担金も助成することとなり、医療費が無料となっています。ただし、定められた医療機関以外は、今までどおり医療機関で発行される領収書を役場に持参の上、医療費の請求をしてください。

ひとり親家庭等医療費助成事業

【母子家庭、父子家庭の方が
助成対象になります】
ひとり親家庭で、18歳未満の児童・生徒及びその児童等を養育している方が対象です。住民税非課税世帯の方は、児童等が20歳未満まで対象となります（申請には在学証明書が必要）。

受給者証は、各医療機関に提示するこ

とで、医療費の助成が受けられます。

ただし、親の外来は医療機関で発行される領収書を役場に持参の上、医療費の請求をしてください。

重度心身障がい者医療費助成事業

対象者は、身体障害者手帳の1〜2級と3級（内臓疾患のみ）、療育手帳「A」判定の方などです。

受給者証は、各医療機関で提示すること、医療費の助成が受けられます。

住民税課税で65歳以上の一定の障がいがある方（障がい後期医療制度加入者）は、自己負担が1割となりますが、後期高齢者医療保険も同じ1割となりますので、受給者証は交付されません。

問い合わせ先

保健福祉課 健康医療グループ
福祉医療担当⑨番窓口

☎76-2151（内線229）

核のない平和な世界を願って

「非核・平和の町宣言」の決議

世界の恒久平和と豊かで安全な地域環境を守ることは、全世界の共通の願いであります。

この切なる人類の願いにかかわらず、今なおこの地球上には大量の核兵器が蓄積され、核実験・核競争が行われ、この脅威から解放されておられません。核兵器の使用は地球を破壊し、すべての人類、すべての文明を破滅させるものであります。

世界唯一の被爆体験国である日本国民は、この過ちを再び繰り返さないために、核兵器の廃絶を世界に訴え続け、核競争に歯止めをかけなければなりません。

愛林の町を宣言している私たち津別町民は、緑豊かな自然と郷土を守り子孫に伝えるためにも、非核三原則の作らず・持たず・持ち込ませずの理念を尊重し、恒久平和の実現を願い、ここに「非核・平和の町宣言」をする。

以上、決議する。

平成10年9月25日

北海道網走郡津別町議会

今年で69回目の終戦記念日を迎えます。しかし、今なお広島・長崎の原爆の後遺症に苦しむ多くの人たちがいます。

核も戦争もない平和な世界は人類の願いですが、テロと報復戦争が繰り返されています。

津別町は、平成10年9月に左記の「非核・平和の町宣言」を行い、核兵器の廃絶を訴えています。また、平成14年には幸町の忠魂碑跡地に「平和の碑」を建立し、恒久平和の実現を願っています。さらに、平成21年に、連帯して世界恒久平和の実現を願う「平和市長会議」に加盟しました。



平成14年に建立された「平和の碑」

観光客やスポーツ合宿の受け入れに対応
津別町体験交流施設の新館オープン

津別町体験交流施設（通称…みいとインツベツ）の新館が落成し、7月15日、オープン式と見学会が行われました。

旧館（前ファームステイ・ティエラ）に隣接して新たに建設が進められていた新館と、これにより50名あまりの宿泊客の受け入れが可能となりました。

オープン式では、佐藤町長や来賓の方などから宿泊施設不足の解消に向けて期待の声が寄せられ、指定管理者である菊池能正さん（有限会社日本ミート代表取締役）は、関係者への感謝の言葉とともに、スポーツ合宿等へのしつかりした対応を約束していました。



青年海外協力隊でザンビアに派遣
津別中の渡邊先生が出発の報告

青年海外協力隊員としてアフリカ・ザンビアに派遣される、津別中学校の渡邊美希先生が、6月25日、国際協力機構のスタッフと共に佐藤町長を表敬訪問しました。

渡邊先生は、7月から2年間の任期でザンビアに滞在し、コミュニケーション・スクールで小学生に英語と算数を教えるほか、地域の女性の自立支援にも携わる予定です。

「世界の一番大変なところで子どもたちのために頑張りたいという、10年越しの思いが叶ったの派遣です。ここまで支えてくれた家族、友人、生徒、仲間への感謝の気持ち



を忘れず、一生懸命活動してきます」と、出発にあたって決意を新たにしていきました。

万全の準備で災害に備える
津別消防演習実施

6月22日、平成26年津別消防演習が、津別小学校グラウンドで実施されました。

津別消防署から17名、消防団から108名（うち美幌消防団6名）、車両8台が演習に参加し、小隊訓練や消防ポンプ車操作など日ごろの訓練成果を披露、ときおり強い雨が降るあいにくの天候でしたが、グラウンド全面を使った、緊張感あふれる演習が繰り広げられました。

この後、消防庁舎前の道路に会場を移し、工場火災を想定した模擬火災訓練の一斉放水が行われ、署員・団員たちは本番さながらの真剣な表情で取り組んでいました。



津別の安心食材を子どもたちに
牛肉寄贈と放牧牛乳の提供



学校給食用として津別町肉牛振興会（川瀬敦史会長・写真中央）から津別町産黒毛和牛肉の寄贈が、津別町酪農振興会（田上貴志会長・写真右）から津別町産牛乳「明治北海道牛乳彩る季節」6月5日10月放牧牛乳の提供あり、7月8日、林教育長に目録が贈られました。

給食を通じて地元の食材の素晴らしさを知ってもらうとともに、子どもたちに安心安全なものを提供したいという思いから実施されているもので、牛肉の寄贈は45kg、週一回提供の牛乳は通常より割高になる分との差額を酪農振興会が負担します。

野生大麻ゼロ作戦！
大麻の抜き取り作業を実施

7月7日、津別町内で大麻の抜き取り作業「野生大麻ゼロ作戦！」が実施され、津別ライオンズクラブ、北見保健所、役場などから27名が参加。昨年の10倍以上、約4千本の大麻を抜き取りました。

北見保健所管内には、多くの野生大麻が自生しており、大麻を悪用した犯罪が社会問題化していることなどから、毎年大きく生育する前のこの時期に行われているもので、抜き取られた大麻は埋め立て処分されました。



townics

まちのわだい

交通安全標語マグネットシート寄贈
混乗スクールバスの車体に掲示

7月14日、津別町交通安全協会（柳瀬輝彦会長）から町に、交通安全標語をプリントした車体掲示用反射マグネットシートが寄贈されました。

シートには、「第22回交通安全に関する標語コンクール」小学生の部最優秀作品「あぶないぞ スマホを見るな 前を見る」(津小6年・水戸部郡くん)「写真左から3人目」と中学生の部最優秀作品「その笑顔 シートベルトで 守ろうよ」(津中3年・眞鍋葉月さん)「写真右から3人目」がそれぞれプリントされており、混乗スクールバスの車体側面に掲示して、交通安全啓発に役立てられます。



第57回津別高等学校校祭
行灯パレード&よさこい演舞で学年別に競演



7月19・20日の二日間、第57回津別高等学校校祭が開催されました。

19日は、行灯パレードに続き、さんさん館でよさこい演舞が行われ、生徒たちの熱気あふれる踊りに、会場を埋めた観客から盛んな拍手が送られました。

よさこい演舞終了後に行灯パレード、パフォーマンスの3部門で審査が行われ、3年生チームが行灯とパフォーマンス部門の一位に輝きました。

親子のよい歯のコンクール
辻さん親子に最優秀賞



平成26年度「親子のよい歯のコンクール」北見地区大会（主催 北見保健所、北見歯科医師会）で、津別町の辻良亮さん・母美ちゃん親子が最優秀賞に選ばれました。

昨年度に、北見保健所管内で3歳児歯科健康診査を受診した幼児とその親を対象に審査が行われ、辻さん親子らが最も健康的な歯と認められたものです。

6月7日に行われた表彰式には、家族そろって出席。お母さんの真由香さんは「食事の後に、きちんと歯磨きする習慣を続けてきた甲斐がありました」と、受賞の喜びを語りました。

津別町130年記念
納涼盆踊り大会

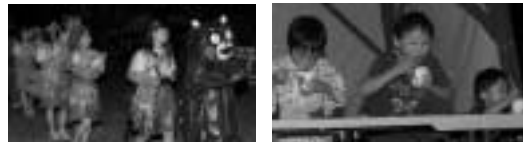
8月15日(金)
午後6時30分から

悪天候の場合、16日午後6時30分に順延となります(開催の問い合わせ先は下記のとおり)

毎年好評のアメリカン盆ダンス
目指せ!優勝賞品 子ども・大人仮装盆踊り
津別の特産品が当たるお楽しみ抽選会

会場 津別神社境内
仮装申し込み 当日会場で受け付けます
問い合わせ先

津別観光協会事務局(役場内)
☎76-2151(内線315)



駐車場は、商工会館、さんさん館、町営駐車場(林協様横)等をご利用ください。

平成26年度 自衛官等募集案内

募集種目	応募資格	受付期間	試験期日(1次)
航空学生 海・空	高卒(見込含) 21歳未満	8/1(金) ~9/9(火)	9/23(火)
一般曹候補生	18歳以上 27歳未満	8/1(金) ~9/9(火)	9/19(金) 9/20(土)
自衛官 候補生		年間を通じて 行っています	9/25(木) 9/26(金)
		8/1(金) ~9/9(火)	9/27(土) 9/28(日)
防衛大学校学生	高卒(見込含) 21歳未満	前期:9/5~30 後期:1/21 ~1/30	前期:11/8(土) ・9(日) 後期:2/28(土)
防衛医科大学校 (看護学科)		9/5(金) ~9/30(火)	10/18(土)
防衛医科大学校 学生		9/5(金) ~9/30(火)	11/1(土)・2(日)
高等工科大学 生徒	中卒(見込含) 17歳未満	北見地域事務所に お問い合わせください	

問い合わせ先 自衛隊北見地域事務所 ☎0157-23-6826
募集コールセンター(受付時間 12時~20時)
フリーダイヤル ☎0120-063792
ナビダイヤル ☎0570-045818(携帯電話)

第64回社会を明るくする運動
「ふれあい町民のつどい」開催

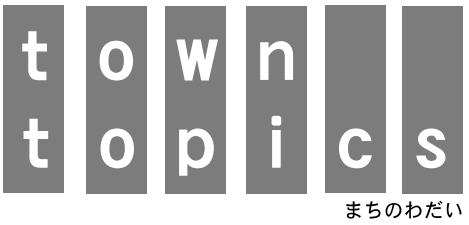
7月18日、平成26年度の「ふれあい町民のつどい」(主催 社明運動津別町推進委員会)が、中央公民館で開催されました。運動推進委員長を務める佐藤多一町長の主催者あいさつの後、美幌地区保護司会津別分区分長の福井全雅さんが法務大臣からのメッセージを紹介、続いて行われた「社会を明るくする運動標語コンクール」表彰式では、入賞された皆さんに賞状と記念品が贈られました(最優秀賞作品を13ページに掲載)。



元五輪選手・岩谷さんらが指導
グレステンスキー講習会実施

7月19・20日の2日間、つべつグレステンスキー場で、グレステンスキーの講習会が行われました。サラエボオリンピック元代表選手の岩谷高峰さんらをインストラクターに迎え、「グレステンスキーを利用したアルペンスキーの基本動作のマスター」をテーマに講習が行われ、子どもたちやスキー愛好家が、真剣な表情で技術の習得に取り組んでいました。

最初は硬い動きが目立つ参加者たちも、岩谷さんの指導で見える上達し、気持ちよそくにグレンデを滑走していました。



119番通報と消防(救急)車の出動について
~ 消防本部・通信指令室からのお知らせ ~

119番に通報したらいろいろ聞かれますが、出動が遅くなりませんか?
119番通報を受理し、火事が救急か・発生場所・大まかな内容がわかればすぐに消防(救急)車が出動します。出動後に詳細な内容をお聞きしていますのでご理解ご協力をお願いします。

119番を受理してから消防(救急)車の出動までの流れは次のとおりです。

通信指令室	美幌消防署です。火事ですか? 救急ですか?
通報者	「火事(救急)です」
通信指令室	美幌町ですか? 津別町ですか?
通報者	「津別町です」
《予告指令!》	
発生した町の各消防署へ、火災・救急の予告が指令され各隊員は出動準備を始めます!	
通信指令室	場所はどこですか?
通報者	「消防太郎という家です」「住所は、〇〇町〇番地です」 確認のため、隣の世帯主名や近くの目標物をお聞きすることがあります。
通信指令室	何が燃えていますか(誰がどうしましたか)?
通報者	「家が燃えています(交通事故で怪我人がいます)」など
《出動指令!》	
消防(救急)車が出動します。通報内容により、出動車両や人員を増やします。	
出動後に詳細な内容をお聞きし、最後に通報者のお名前と電話番号をお聞きします。	



通報が長くなっても、通報内容は別の通信指令員が出動した消防(救急)隊に無線等で連絡しますので、通信指令員の質問に最後まで落ち着いてお答えください。

問い合わせ先 美幌・津別広域事務組合 消防本部 通信指令室 ☎0152-73-1211

地域おこし協力隊の収穫祭

地域おこし協力隊員が津別町に来て学んだこと、感じたことをつづります。

去年の6月に札幌から津別町に越して来て、1年ちよつとが過ぎました。去年津別町に来た頃、自宅周辺の風景で私の目を引いたものは、多くの家の庭で家庭菜園が行なわれていることでした。

来年は必ず私も家庭菜園を始めようと考えてから一年が経ち、ようやく少し暖かくなつて来た頃から、ご近所の農家さんにいただいた野菜の苗を育てはじめています。

初めての家庭菜園、毎朝成長している野菜たちを見て心躍らせている一方、なかなか実をつけてくれない野菜や急な大雨による影響など、自然は人間の思う通りにはいかないということを身に染みて感じております。

また、野菜を育てる知識も経験もなかったため、今まではなんとなく見ていた様々なお家の家庭菜園の方法も、自分ではじめてみた今となっては、とても参考になることがわかりました。綺麗に並んだ野菜たちや真っ直ぐと天に向かって伸びる莖、大きくおいしそうなお実をつけている野菜は、毎年土と向き合ってきた方々の年月の積み重ねの結晶なんだと感じています。

津別町に越して来て1年、まだ芽が出てもない私たち夫婦も、野菜と共に一年一年、少しずつ津別に根を付け、いつの日か実をつけ収穫できるまで成長していければと考えさせていただきます。

福士 大輔
幼い頃から父の影響で自然と触れ合うことが大好きでした。自然豊かな津別町から様々なことを発信していきたい。

元気なあいさつを心がけています

小西 駿士 さん



こにし たかしさん / 平成3年10月生まれ / 津別町役場勤務 / 達美在住

青春

くるーずあっぷ

今年4月から津別町役場に勤めている小西駿士さん。保健福祉課介護福祉グループに所属し、福祉担当の新人職員として、先輩職員の手伝いや窓口業務などに奮闘しています。

旧端野町（現北見市端野町）出身の小西さんは、北見柏陽高等学校から札幌学院大学経営学部に進学。小学生のころから人のためになる仕事に就きたいと考え、早くから出身地であるオホーツク管内自治体への就職を志望していました。面接試験で津別を訪れた際に

は、端野に似た街並みを見て、故郷に帰ったような印象を受けたそうです。

「まだまだ分からないことばかりですが、福祉担当として少しでも困っている方に立てるよう頑張ります」と、抱負を語ってくれた小西さん。庁舎内だけでなく、街中で出会った人にも、自分から積極的にあいさつすることを心がけているそうで、「見知らぬ若者からあいさつされたら、私だと思ってください」と、さりげなく自己アピールを忘れません。

温故知新

【436】

若いころは相撲大会で活躍

村田 泰市 さん



むらた やすいちさん / 昭和15年1月、津別町生まれ / 74歳 / 布川在住

「畑仕事もそろそろやめようかなと思うんだけど、頼まれるとそうもいなくて」と笑う村田泰市さん。今もハウスで育てた季節ごとの野菜を、道の駅あいおいに出荷しており、トマトやナス、きゅうりなど採りたての新鮮な野菜を求めて、釧路や北見からも顔なじみのお客さんが訪れるそうです。

農家の次男として大昭に生まれた村田さんは、25歳で所帯を持ち、布川の5haの土地で畑作を始めます。

31歳からは営林署に勤め、兼業農家として一年を通して仕事に励み、一男一女を育て上げました。「そのぶん、畑の方では家内に苦労をかけた」と、夫婦二人三脚での奮闘を振り返ります。仕事に追われる中で、若き日の村田さんが楽しみにしていたのが相撲大会への出場。昭和30年代までは、秋祭りの催しなどで素人相撲大会が開かれることが多かったそうです。

子どもころから力自慢で、中学時代は網走管内の相撲大会で優勝したこともある村田さんは、「20代は津別だけでなく、近くの町で開かれる相撲大会にもよく参加しました。勝てば賞金が出るので、ちょっとした小遣い稼ぎになりました」と、当時は懐かしみます。

現在、布川友愛老人クラブの会長として、地区のお年寄りのまとめ役をしている村田さん。役員の高齢化などで老人クラブの存続が危ぶまれた時期もあったようですが、60〜70代の住民が中心となって活動を続けています。

会員7人という小所帯ながら、チームワークの良さを清掃活動や花壇作り、親睦会など、地域の環境整備や奉仕活動に積極的に取り組んでいます。

～ 津別町130年記念 ～ 第13回 つべつ紅葉マラソン大会参加者募集!

開催日 平成26年10月5日(日)雨天決行
受付 午前8時00分～午前8時30分
開会式 午前8時45分
スタート 午前10時30分(一斉スタート)

種目
・ハーフコース(21.0975km) 一般男女年代別
・10kmコース 一般男女年代別(中学男女含む)
・5kmコース 一般男女年代別・中学男女・小学4年～6年男女
・3kmコース 小学1年～3年男女・自由参加(年齢性別は問いません)
ハーフコース、10kmコース、5kmコースに参加する高校生は、一般男女年代別に該当します。
10kmコースに参加する中学生は、一般男女年代別に該当します。

参加料 ①一般 1,500円 ②中高生 1,000円 ③小学生 700円

定員 300名(先着順)
締切 申込書に必要事項を記入の上、参加料を添えて下記の申し込み先まで9月1日(月)厳守でお申し込みください。
また、申込用紙は津別町中央公民館でお受け取り(町外郵送可能)になるか、津別町のホームページ(<http://www.town.tsubetsu.hokkaido.jp/>)からダウンロードすることができます。

申し込み・問い合わせ先 津別町中央公民館内 つべつ紅葉マラソン大会事務局 ☎76-2713



今年は津別町をエリック・ワイナイナ選手が来る!

暮らしを支える 税 消費税等の中間申告

個人事業者の方で、前年分の確定消費額が一定金額を超える方は、中間申告書を提出するとともに、消費税額及び地方消費税額を納付しなければなりません。

中間申告と納税が必要な方
個人事業者の方で、平成25年分の確定消費額が48万円を超える方は、中間申告と納税が必要です。

この「平成25年分の確定消費額」とは、平成25年分の確定した消費税の年税額をいい、期限後申告又は修正申告等が行われた場合には、これらによって確定した消費税の年税額をいいます。消費税と地方消費税を合わせた額ではありません。

中間申告の方法
次の二つの方法がありいずれかの方法によることができます。

- ① 前年実績による中間申告
- ② 仮決算に基づく中間申告(事業状況が平成25年と著しく異なる場合などのとき)

申告と納付期限
確定消費額の額(地方消費税分を除く額)が48万円を超え400万円以下の方は平成26年9月1日(月)までに申告・納付をしてください。振替納税をご利用の方の振替日は平成26年9月29日(月)になります。

お知らせ
information
インフォメーション

まちづくりに対する疑問、ご意見をお寄せください。
住民企画グループ ☎ 76-2151
FAX 76-2976

功労者・善行者及び文化・スポーツ賞の推薦について

町と教育委員会では、11月3日の文化の日に、町政の発展や振興に貢献し、その推進に寄与された方や、他の模範となるような行いをされた方、文化活動やスポーツ活動で顕著な功績を残された個人と団体の方に、毎年表彰を行っています。

清掃活動や地域への奉仕活動など、目立つことなく善行を長年にわたり行っている人がいましたら、町へ推薦して

「献血」にみなさんのご協力を願います

移動献血車「ひまわり号」が来町します。みなさんの温かいご協力をお願いします。

実施日 8月11日(月)
場所・時間 役場議事室前

9時30分～11時50分
13時00分～14時20分
丸玉産業前(達美工場)
14時40分～15時30分
いしばし呉服店前
15時50分～16時30分

当日献血にご協力いただいたみなさんには、津別ライオンズクラブより卵のプレゼントをお渡しいたします。

問い合わせ先 保健福祉課
健康医療グループ
☎76-2151(内線231)

北方領土返還要求署名コーナーの設置

「北方領土返還要求強調月間」に伴い、北方領土返還要求の署名コーナーを次の場所に設置します。

多くの皆さんのご協力をお願いいたします。

ください。

表彰の種類
・功労表彰(自治・消防・産業開発・社会福祉・教育文化)
・善行表彰
・文化賞 文化奨励賞
・スポーツ賞 スポーツ奨励賞
推薦締切日 9月2日(火)
推薦先
・功労と善行 総務課庶務グループ
☎76-2151(内線224)
文化とスポーツ 中央公民館社会教育グループ
☎76-2713

建退共制度

建退共制度は、中小企業退職金共済法に基づき建設現場労働者の福祉の増進と建設業を営む中小企業の振興を目的として設立された退職金制度です。

この制度は、事業主の方々が、労働者の働いた日数に応じて掛金となる共済証紙を共済手帳に貼り、その労働者が建設業界で働くことをやめたときに建退共から退職金を支払うという、いわば業界全体での退職金制度です。

加入できる事業主…建設業

設置期間
8月1日(金)～
8月29日(金)
8月は強調月間です

設置場所
役場 正面玄関ロビー
名簿に記載された個人情報については、政府要求・請願用にしご使用いたしません

問い合わせ先
総務課庶務グループ
☎76-2151(内線208)

ハローワークでは「若者応援企業」を募集中です

この事業は、若者の採用・育成に積極的な企業に「若者応援企業」を宣言していただき、ハローワーク及び北海道労働局が積極的に企業のPR等を行います。

若者応援宣言時に提供いただきましたPRシートは、北海道労働局のホームページ及びハローワークにて公開し、若年求職者及び新規学校卒業者の皆さんに提供いたします。

若年者及び新規学卒者の雇用をお考えのときには、「若者応援企業」を宣言し、積極的に企業アピールをしませんか。

問い合わせ先
ハローワーク美幌
☎73-3555

を営む方
対象となる労働者…建設業の現場で働く人
掛金…月額310円

特長
・国の制度なので安全、確実
申し込み手続は簡単です。
・経営事項審査で加点評価の対象となります。
・掛金の一部を国が助成します。
・掛金は事業主負担となりますが、法人は損金、個人では必要経費として扱われ、税法上全額非課税となります。
・事業主が変わっても退職金は企業間を通算して計算されます。

問い合わせ先
建設業退職金共済北海道支部
☎011-261-6186

むし歯ゼロのお友だちを紹介しします

6月24日に実施した3歳児健診で、むし歯ゼロのお友だちを紹介しします。

遠藤 里志ちゃん(活潑)
真鍋 光輝くん(岩富)

問い合わせ先
保健福祉課健康医療グループ
☎76-2151(内線232)

戦後海外から引き揚げて来られた方々へ

税関では戦後、海外から引き揚げて来られた方々からお預かり致しました、約87万枚の下記のような未返還の保管証券類をお返ししております。

終戦後、海外から引き揚げて来られた方々が、上陸地の税関・海運局に預けられた通貨・証券、
帰国前に樺太(真岡、大泊、豊栄、留多加など)、満州(瀋陽、吉林、撫順、鞍山など)にあった在外公館、日本人自治会に預けられた通貨・証券のうち日本に返還されたもの。

【保管証券類とは…】
税関が保管している通貨・証券類には、携帯輸入が禁止された一定額を超えたものについて上陸港で引揚者から税関が預かった『上陸港扱いの保管物件』、外地からの引き揚げの際、在外公館又は日本人自治会へ寄託され、最終的に税関に移管された『外地扱いの保管物件』があります。

返還の請求はご本人だけでなくご家族の方でも構いません。お気軽に最寄りの税関までお問い合わせ下さい。



飲酒運転を根絶しましょう

7月13日、小樽市で、酒気帯び運転の自動車ひき逃げし、歩行者4人を死傷させるという事故が発生しました。

飲酒運転は、運転者はもちろんのこと、車両などを提供した者、酒類を提供した者及び同乗した者も罰則等の対象となります。周囲の人も、運転者が飲酒することのないよう注意しましょう。

【飲酒運転に係る主な罰則】
酒酔い運転をした場合

運転者本人・車両提供者は、5年以下の懲役又は百万円以下の罰金。
酒類提供者と同乗者は、3年以下の懲役又は50万円以下の罰金。
酒気帯び運転をした場合
運転者本人・車両提供者は、3年以下の懲役又は50万円以下の罰金。
酒類提供者・同乗者は2年以下の懲役又は30万円以下の罰金。

地域安全ニュース

美幌と津別の防犯協会と美幌警察署からの情報を掲載しています。内容については各防犯協会または警察署にお問い合わせください。

万引きは犯罪！ たばこは非行の入り口！ インターネットには危険がいっぱい！

非行防止は家庭から
・家庭は最も身近な社会です。
・インターネットを利用して犯罪被害に遭わないために、家庭でのルール作り。

こんな兆候は要注意
・行き先を言わず外出をしたり、帰宅時間が不規則になり、夜遊びや外泊が多くなった。
・親に隠れて長時間携帯電話を利用したり、知らない人からメールが届くようになった。
・子どもの携帯電話にフィルタリングサービス
・子どもを犯罪被害から守るために、子どもの使用できる携帯電話に有害サイトへのアクセスを制限できるフィルタリングを利用することが法律で定められています。

問い合わせ先
釧路税関支署網走出張所
☎0152-43-5811

社会を明るくする運動 標語入賞作品紹介

第64回社会を明るくする運動標語コンクール(主催 社明津別町推進委員会)の入選作品が決定しました。ご応募ありがとうございました。最優秀賞

秀賞のみ掲載。
小学生の部最優秀賞
『心がね おこっているよ はんざい』
植松歩有子さん(津小4年)
中学生の部最優秀賞
『やさしさと 笑顔でつなぐ希望の輪』
前田愛佳さん(津中2年)
一般の部最優秀賞
『思いやり 優しい心で “和”をつなごう』
青島千秋さん(一般)

放送局を装う騙しの手口！

放送局を名乗る男から「過去の投資被害の取材に応じてくれたら、被害金が取り戻せる」と、電話があった。

その後、送られてきたパンフレットには有名なキャスターの写真が掲載されており、すっかり信用した。

そして、「被害金を取り戻す代わりに金の取引きに出資してほしい」と誘われ、断れず21万円を振り込んだ。

その後連絡がとれなくなった。騙されたのか？

消費生活相談

Q&A

実在する報道機関と似た名称に惑わされてしまったようです。放送局などが「取材に応じれば被害金を取り戻す」などと電話をかけることは、絶対にありません。お金を支払ってしまつと取り戻すのは極めて困難です。きつぱり断ることが大切です。

消費生活のご相談は
美幌消費者協会
☎・FAX 72-0366
月～金曜日(祝日を除く)
午前10時～午後4時

8月14・15日は休みのため、ご相談は役場商工観光グループで受け付けます。

年金三二知識

問い合わせ 戸籍・年金担当
☎76 - 2151 内線 222、223

後納制度をご存知ですか

後納制度とは

これまで、国民年金保険料を納め忘れたまま2年を超えると保険料を納めることができなくなりましたが、平成24年10月1日から平成27年9月30日までの3年間に限り、過去10年以内の納め忘れた保険料を納めることができるようになりました。

将来の年金額を増やすことや、これまで年金の受給ができなかった方が年金受給資格を得られる場合があります。

ご自分の年金記録を確認したい方は年金記録については、ねんきんネット(http://www.nenkin.go.jp/n_net/)でご確認いただけます。

後納制度は申し込みが必要です

後納制度は事前に申し込みが必要ですが、審査の結果、後納制度による納付をご利用いただけない場合があります。詳しくは、下記へお問い合わせください。

国民年金保険料専用ダイヤル

☎0570 - 011 - 050

北見年金事務所

☎0157 - 25 - 9635

8月は町道民税第2期 国民健康保険税第3期の納付月です

納付期限は **9月1日(月)** です

口座振替をご利用の方は、引落口座の残高の確認をお願いいたします。

問い合わせ先 税務収納グループ ☎76 - 2151
税務担当(内線220・221) 収納担当(内線218)

環境省「子どもの健康と環境に関する全国調査」 エコチル調査への参加登録ありがとうございました

平成23年2月に開始したエコチル調査は、この4月で約3年間の登録期間が終了いたしました。全国103,104人、北海道8,362人、北見地区1,508人(津別町36人)にご参加いただきました。皆様のご協力に厚くお礼申し上げます。

今後は半年ごとに実施される質問票調査が13歳になるまで継続されると平行して、12月からは一部の方を対象に詳しい調査を行う「詳細調査」が始まります。

エコチル調査はお子さまの健康を増進するために行われていきますので、皆様の子育てに役立つ、有用な結果が出ましたら、さまざまな形で情報として還元したいと思います。引き続きご協力いただけますようよろしくお願いいたします。

《問い合わせ先》

北海道ユニットセンター北見サブユニット
日本赤十字北海道看護大学 エコチル調査担当者あて
☎0157 - 66 - 3311(大学代表)
午前9時～午後5時(土・日・祝日を除く)
E-mail ecochil@rchokkaido-cn.ac.jp

個人事業税・第1期の納期限は9月1日(月)です

個人事業税は、道内に事務所(事業所)があり、事業を行っている個人に、その所得を基礎として課税される道税です。

事業の所得から各種控除額を差し引いたものに次の税率をかけて算出します。

第一種事業	物品販売業、不動産貸付業、飲食店業など	5%
第二種事業	畜産業、水産業など	4%
第三種事業	医業、理・美容業、クリーニング業など	5%
	あん摩・はり・きゅう業など	3%

オホーツク総合振興局から送付する納税通知書で、第1期(9月1日期限)と第2期(12月1日期限)の2回に分けて納めていただきます。

問い合わせ先 オホーツク総合振興局税務課

【課税に関すること】 課税係 ☎0152-41-0613

【納税に関すること】 納税係 ☎0152-41-0616

第9回「みどり香るまちづくり」 企画コンテスト 応募団体募集

～植物のかおりをまちづくりに活かす
企画をお待ちしています～

応募要件 かおりの樹木・草花を用いた、
街区・近郊地区の「みどり香るまちづくり」
を演出する企画を募集します。

賞と副賞 環境大臣賞1点(副賞:企画に
応じた樹木、その他の草木の苗木・苗を
全て提供=100万円相当) 他各賞
応募締切 平成26年10月10日(金)

応募方法、過去の受賞例等は企画コンテ
ストホームページをご覧ください。

[みどり香るまちづくり](#) [検索](#)

http://www.env.go.jp/air/akushu/midori_machi/index.html

問い合わせ先
環境省 水・大気環境局大気生活環境室
☎03 - 5521 - 8299

平成26年度(第2回)北海道警察官採用試験について

受験資格 昭和57年4月2日から平成9年4月1日までに生まれた方
受付期間 平成26年8月12日～8月27日(電子申請は8月22日まで)

第一次試験 試験日 平成26年9月21日(日)

試験地 道内22会場(札幌、北見ほか) 東京

問い合わせ先 美幌警察署 ☎72 - 0110 警務係

美幌消費者協会では会員を募集しています!

美幌消費者協会は日常の生活に必要な商品知識、価格等を調べ、正しい情報を発信しています。情報誌(北の暮らし、きらめっく、すずらん等)を通じて「食の安全」「環境問題」「悪質商法の対策」などを一緒に考えながら、心身ともに豊かで安心の暮らしを目指している協会です。年会費1,000円でいつでも入会できます。

町内会、職場、団体など5人以上集まってくだされば、出前講話に出向きます。また、悪質な訪問や詐欺的な行為の情報がありましたらお知らせください。

問い合わせ先 美幌消費者協会 ☎・FAX 72 - 0366

津別町農地賃借料を公表します

津別町における平成25年1月から12月までに締結(公告)された賃借料における賃借料水準(円/10a当たり)は、以下のとおりとなっています。

地区	平均額	最高額	最低額	データ数
東岡	5,900	7,000	5,000	4
活汲・岩富 達美	8,300	9,600	5,000	8
最上	7,800	8,000	7,600	2
高台・豊永	8,600	10,000	8,000	5
美都・上里	6,800	8,000	5,000	10
共和	6,400	8,000	3,000	7
恩根・栄・双葉	5,400	7,000	3,500	5
沼沢・本岐 木樋・二又	3,000	4,500	2,000	5
大昭・布川 相生	5,300	7,500	2,000	4
(参考) 津別町平均	6,300			50

- ・データ数は、集計に用いた件数です。
- ・金額は、算出結果を四捨五入し、100円単位としています。
- ・「(参考)津別町平均」の平均額は、各区分の集計に用いた全賃借料データの平均です。

問い合わせ先 農業委員会事務局 ☎76 - 2151

消防団員募集

津別消防団では、消防団員を募集しています。津別で暮らすあなただからこそ、地域防災の担い手として活動してみませんか?
消防団とは?
市町村に設置される公の機関で、消防と連携して活動します。
消防団員の立場は?
消防団員は権限と責任を有する非常勤特別職の地方公務員です。
活動の内容は?
消防署や関係機関と連携して、平常時は各種訓練や予防活動を行い、火災時は消火活動、地震や風水害

時には救助・救出等を行います。
入団資格は?
・津別町に居住している人
・年齢18歳以上の健康な人
まずはお電話を!
問い合わせ先
津別消防署 ☎76 - 2189



夏の暴力追放運動 (7月21日～8月20日)

重点目標

①暴力団の違法な資金獲得活動の実態周知と被害防止

振り込め詐欺、サラ金・携帯電話使用料等の架空請求、書籍の購入要求、ゆすり、たかり等の暴力的要求行為その他の暴力被害の早期相談と積極的な届出を呼びかける。

②少年に対する暴力団の影響排除と環境の浄化

暴力団関係者との交遊、車の暴走行為や薬物乱用等の非行行為を見たときは、保護者や関係者に知らせよう呼びかける。

問い合わせ先
(公財)北海道暴力追放センター北見支局
☎0157 - 61 - 5982